

制作研究 2

対象	2年次	開講期	通年	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	寺谷和寛			実務経験	有	職種	玩具会社企画デザイン、キャラクター デザイン				

授業概要

アナログ画材を使用したキャラクターデザイン、イラストレーション制作を行う。

到達目標

アナログ画材の技術習得、キャラクターデザイン、イラストレーション、発想力のスキルアップを目標にする。

授業方法

与えられた課題をアナログ画材を使用し制作する。ラフチェックや途中段階をチェックし、アドバイスや修正などを行う。講師のデモンストレーション、作画レクチャーを行う。提出後は講評を行う。

成績評価方法

提出物の評価、授業態度、進行状況やラフのチェックも加味する。時限出席率75%以下は課題を提出していても不合格となる。

履修上の注意

授業中は私語を慎み、集中して作業すること。個人制作が主で進行スピードが各々違う為、他人の作業の邪魔しないよう心掛けること。質問、ラフチェックは遠慮せずに積極的にし、講評中はメモをとり、次や他の制作に活かせるように努めること。※授業進行状況により一部スケジュールが変更になる場合がある。

教科書教材

画材、デッサン用具、スケッチブック

回数	授業計画
第1回	自己紹介課題①イラストプロフィール制作
第2回	課題①イラストプロフィール制作、講評発表
第3回	水彩絵の具レクチャー

制作研究 2

第 4 回	課題②花と妖精制作
第 5 回	制作作業、ラフチェック
第 6 回	制作作業、ラフチェック
第 7 回	制作作業、授業終了時提出
第 8 回	講評
第 9 回	課題③テーマ童話（ワークショップ 2A：コラボレーション）
第 10 回	制作作業、ラフチェック
第 11 回	制作作業、ラフチェック
第 12 回	制作作業
第 13 回	提出、講評
第 14 回	課題④ハロウィンキャラクター制作
第 15 回	制作作業、ラフチェック後期へ継続

制作研究 2

第 16回	制作作業、ラフチェック
第 17回	制作作業、提出、講評
第 18回	課題⑤展示用課題（ワークショップ2C：コラボレーション）
第 19回	制作作業、ラフチェック
第 20回	制作作業、ラフチェック
第 21回	制作作業、ラフチェック
第 22回	制作作業
第 23回	制作作業
第 24回	制作作業、授業終了時提出、講評
第 25回	課題⑥鬼のお面制作
第 26回	制作作業、ラフチェック
第 27回	制作作業、ラフチェック

制作研究 2

第 28回	制作作業
第 29回	制作作業
第 30回	講評

2020年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科 アニメーションコース

制作研究 2 作画

対象	2年次	開講期	通年	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3	
担当教員	山田伸一郎			実務経験	有	職種	アニメーター					

授業概要

学習成果を作品にまとめる。また、受講内容から更に高度な技法や理解度を補うための研究も行う。

到達目標

1年次で身につけた基礎技能を反転させる。またグループ制作を通じて協働の重要性と必要性を理解できるようになる。

授業方法

主にアナログ作画実習室においてアニメーションの作画技法を学ぶ。

成績評価方法

60%授業時間内に行われる課題制作、内容について評価する
40%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

履修上の注意

業界就職を見据えたグループ制作のため積極性と協調性をもって授業に参加すること。

教科書教材

作画用具、説明プリントと課題は適宜配布。

回数	授業計画
第1回	現場で働くことについて
第2回	作画技術、知識の応用(1)
第3回	作画技術、知識の応用(2)

制作研究 2作画

第 4 回	デジタルツールの話
第 5 回	作画技術、知識の応用(3)
第 6 回	作画技術、知識の応用(4)
第 7 回	ポートフォリオについて
第 8 回	動物の動き
第 9 回	エフェクトの動き
第 10 回	カメラワークの復習(1)
第 11 回	カメラワークの復習(2)
第 12 回	スケジュール管理の話
第 13 回	卒業制作企画検討会
第 14 回	卒業制作準備
第 15 回	前期まとめ

制作研究 2作画

第16回	卒業制作ワークフローの確認
第17回	卒業制作作画打ち合わせについて
第18回	卒業制作応用絵コンテ・レイアウト(1)
第19回	卒業制作応用絵コンテ・レイアウト(2)
第20回	卒業制作応用レイアウト・原画
第21回	卒業制作中間チェック(1)作画スケジュール
第22回	卒業制作応用レイアウト・原画・動画(1)
第23回	卒業制作応用レイアウト・原画・動画(2)
第24回	卒業制作応用レイアウト・原画・動画(3)
第25回	卒業制作動画チェック作業
第26回	卒業制作中間チェック(2)ラッシュチェック
第27回	卒業制作応用レイアウト・原画・動画(4)

2020年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科 アニメーションコース

制作研究 2作画

第28回	卒業制作応用レイアウト・原画・動画(5)
第29回	卒業制作リテイク（原画・動画）
第30回	完パケ上映、まとめ

制作研究 2 背景

対象	2年次	開講期	通年	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	赤保谷則子			実務経験	有	職種	背景美術				

授業概要

学習成果を作品にまとめる。また、受講内容から更に高度な技法や理解度を補うための研究も行う。

到達目標

1年次で身につけた基礎パースを理解した上で、カメラのあらゆる視点からでも構図が取れるようになること。また、アナログの技法を学ぶことにより今後のデジタル制作に生かせるようになること。

授業方法

ポスターカラーと筆を使いアナログ背景の発展的技術実習をします。

成績評価方法

60%授業時間内に行われる課題制作、内容について評価する
40%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

履修上の注意

クロッキー帳とスケッチブックを指示により用意すること。室外での写生は天候にも左右されるためシラバスの順不同がある。

教科書教材

スケッチブック、クロッキー帳、鉛筆消しゴム、ポスターカラー、筆

回数	授業計画
第1回	美術ボードの模写(1) (レイアウト含む)
第2回	美術ボードの模写(2) (森の風景)
第3回	美術ボードの模写(3) (森の風景)

制作研究 2 背景

第 4 回	美術ボードの模写(4) (岩場の風景)
第 5 回	美術ボードの模写(5) (岩場の風景)
第 6 回	美術ボードの模写(6) (岩場の風景)
第 7 回	美術ボードの模写(7) (アングルの変更)
第 8 回	美術ボードの模写(8) (アングルの変更)
第 9 回	美術ボードの模写(9) (アングルの変更)
第 10 回	個別制作、ポートフォリオ制作(1)
第 11 回	個別制作、ポートフォリオ制作(2)
第 12 回	個別制作、ポートフォリオ制作(3)
第 13 回	個別制作、ポートフォリオ制作(4)
第 14 回	個別制作、ポートフォリオ制作(5)
第 15 回	まとめ

制作研究2背景

第16回	オリエンテーション
第17回	個別課題練習(1)
第18回	個別課題練習(2)
第19回	個別課題練習(3)
第20回	個別課題練習(4)
第21回	個別課題制作(1)
第22回	個別課題制作(2)
第23回	課題チェック、予定確認
第24回	背景スタジオシミュレーション(1)
第25回	背景スタジオシミュレーション(2)
第26回	背景スタジオシミュレーション(3)
第27回	背景スタジオシミュレーション(4)

制作研究2背景

第28回	背景スタジオシミュレーション(5)
第29回	背景スタジオシミュレーション(6)
第30回	まとめ

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科 アニメーションコース											
制作研究2 デジタル											
対象	2年次	開講期	通年	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	平岡栄一			実務経験	有	職種	映像編集				
授業概要											
学習成果を作品にまとめる。また、受講内容から更に高度な技法や理解度を補うための研究も行う。											
到達目標											
AdobeAftereffects、Premiere、RETASSTUDIO等の制作ツールを使いこなすだけでなくつくった映像をYoutube等で公開できるようになることを目標とする。また2D作画以外の映像制作の手法を理解し、その技術をアニメ制作に応用し、幅広い表現力を身に付られるようになる。ポートフォリオ制作やアニメ業界の職種研究、進路選択のための情報を得ることも目標とする。											
授業方法											
個人ワークとグループ制作を取り入れる。個人製作で自らの特性、得意な分野を見極めた上でグループ制作に入り、異なる得意スキルを持ったクラスメイトと共同で制作に取り組むことによりコミュニケーションを発達させ、またクラスメイトの作品から積極的に学ぶものを取り入れる。											
成績評価方法											
課題を総合的に評価する他、授業時間内に行われる中間チェック、内容についても評価する。											
履修上の注意											
授業の特性により個人指導と全体講義を併せて行う。各自の課題制作の途上、あるいは完成後のチェック作業から個別指導となる。											
教科書教材											
ハードディスク、USBメモリなど											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション										
第2回	映像の基礎用語										
第3回	アニメの撮影用語										

制作研究2デジタル

第4回	実写撮影基礎
第5回	レンズと画角
第6回	映像の取り込み、編集
第7回	AEの実写への応用
第8回	ライブトレース、ロトスコープ
第9回	制作班決定、ミーティング
第10回	課題制作(1)
第11回	課題制作(2)中間チェック
第12回	課題制作(3)
第13回	課題制作(4)
第14回	課題発表、ポートフォリオ組み込み
第15回	まとめ

制作研究2デジタル

第16回	オリエンテーション、ワークフロー確認
第17回	卒業制作色彩・撮影打ち合わせについて
第18回	卒業制作（カメラテスト）1
第19回	卒業制作（エフェクトテスト）2
第20回	卒業制作（レイアウト・撮影指示）
第21回	卒業制作中間チェック1（作画スケジュール）
第22回	卒業制作（応用スキャン・仕上・撮影）1
第23回	卒業制作（応用スキャン・仕上・撮影）2
第24回	卒業制作（応用スキャン・仕上・撮影）3
第25回	卒業制作仕上検査チェック作業
第26回	卒業制作中間チェック2（ラッシュチェック）
第27回	卒業制作（仕上・撮影・編集）4

制作研究 2 デジタル

第28回	卒業制作（仕上・撮影・編集・音響）5
第29回	卒業制作リテイク（仕上・撮影・編集・音響）
第30回	完パケ上映、まとめ

2020年度 日本工学院八王子専門学校

マンガ・アニメーション科 マンガコース

制作研究 2

対象	2年次	開講期	通年	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3	
担当教員	大石准也			実務経験	有	職種	漫画アシスタント、編集					

授業概要

学習成果を作品にまとめる。また、受講内容から更に高度な技法や理解度を補うための研究も行う。

到達目標

業界進出に必要なビジネスマナー、セオリーを習得し、業界就職またはデビューを目標とする。

授業方法

個講義を元にした制作と、制作物であるポートフォリオを用いたディスカッションを行う。

成績評価方法

定期課題の提出率、完成度で評価。遅刻、欠席、早退により減点。

履修上の注意

授業時数の4分の3以上出席すること。

教科書教材

参考書・参考資料等は授業中に指示する

回数	授業計画
第1回	就活演習1 ビジネスマナーにおける基礎知識のおさらい、復習
第2回	就活演習2 書類作成における知識
第3回	就活演習3 面接や会話における知識

制作研究2

第4回	就活演習4 採用、不採用からその後
第5回	デビュー支援1 対企業におけるPR戦略
第6回	デビュー支援2 セルフプロデュースの手法、運営法
第7回	デビュー支援3 業界研究、流行・傾向対策のたてかた
第8回	デビュー支援4 持ち込み演習。作品を元に進めるミーティング
第9回	ポートフォリオ編集1 セルフプロデュースを主としたデザイン
第10回	ポートフォリオ編集2 見栄え、パッケージデザインについて
第11回	ポートフォリオ編集3 内容の精査、追加や修正について
第12回	ポートフォリオ編集4 完成のさせかた、完成品の扱いかた
第13回	卒業制作 1 完成品へのディレクション
第14回	卒業制作 2 展示に向けたプロデュース
第15回	卒業制作 3 作品講評、意見交換会